



並木 利彦

949-6103

南魚沼郡湯沢町大字土樽232

070-2155-3047

toshi@snow.co.jp

<http://donco.jp>

<http://facebook.com/toshi.donco>

御礼申し上げます

今回、多数の皆様を送りだされ、議員となることができました。私はその皆様の代表であることを誇りに思い、その自覚を胸に、代弁者として議員活動を行い、透明な町政、大切な税金の執行ができていくことが、大事だと思っています。町民、皆様が安心して暮らすためには、町政の適切なサービスを確保し維持発展させる必要があります、そのためにも財源の確保、財政の健全化が基本であり、また、人口減少に歯止めをかけるために地域の特性にも、配慮した経済活動の活性化をしなければならないと思います。これからは、町政に皆様のご意見を届けていきたいと思っています。

湯沢町議会 6月定例会 一般質問



マンションに定住して頂き、制限もなく建てられたマンションの廃墟化を防ぎ、世界の流れである部屋の共有化AIRBNBなどを使い共有目的でマンションを購入する人を

防がなければなりません。湯沢の宿泊施設は、地域の皆様の継続した努力によって、食の安全、防火防犯が保たれており、マンションだけが保健所、消防等の検査無しで宿泊業を営む事は、ゆるされない事です。

この観点から自治会を持つマンションの定住者に対して行政サービスを明確化しマンションに定住して頂く事の重要性の認識が町にはあるのかお聞きしたい。

(答) 一定の認定基準を満たせば、原則として町内会と同様のサービスを提供する。マンションの皆様との共生を考えていかなければならない。



大和スマートインターチェンジが6時~22時しか利用できない事や新潟県下で受入体制低出生体重児をみるための新生児特定集中治療室が長岡、新潟に三つしかない点において1秒を争う妊婦にリスクがある。もし臨月近くになり基幹病院の周辺に宿を借りたとき、町から補助が必要であると思うが？

(答) 魚沼基幹病院が六日町病院より遠くなり不安だと思えますが近々の課題とは思わない。しかし、妊婦さんの様々なニーズを丹念に拾い上げ対応していきたい。

※救急車は時間の制限なく大和スマートインターチェンジを降りる事ができます。



現在の大和のスマートインターチェンジの改修の陳情は考えていますか？

(答) 必要であれば当然願います。



湯沢町のスポーツ施設の改修や新設は町民の意見を集約し、きらりと光る湯沢町を作るのであれば、あるスポーツの特化した町の施設づくりが必要かと思うが？

(答) 特化した町の施設づくりは難しいと思われる。



スポーツ施設の抽選方法の現状はどのようになっているのか。

(答) 公正に実施されていると認識している。



南魚沼市と連携し、湯沢のスポーツ施設と南魚沼市の施設とで大会誘致の考えはあるか？

(答) ぜひやっていきたい。



今、中里観光協会、原観光協会等ではその地区をあげて自然環境整備を文化にし、活動しています。この事業に手厚い補助を行うことが町の発展にもつながると思うが？

(答) 地域の皆様と良く相談し補助を続けていきたい。



地域と学校で自然環境を守る尊さを教えることこそが、子供の伝統と文化を誇りに思う郷土愛を大切に教育につながると思うが？

(答) とても大事なことだと思う。

■■■町政にご不安、ご意見、ご指摘ございましたらご連絡下さい。

議会報告の詳細は、<http://donco.jp> ご確認ください。

町からの行政報告

■■■■産業・観光■■■■

(観光客の入込み状況)

湯沢町における平成26年度の観光のお客様の入込みは、対前年比101.7%と前年を若干上回り4,321,900人となりました。特にスキー場は好調で昨年を17万人余り上回り、過去6年間で最多となりました。外国人のお客様については大幅な伸びを示し、宿泊人数では48,482人、前年比率で186.3%、スキー場利用者数は70,800人、前年比率で182.8%、越後湯沢駅広域観光情報/センター訪問者数は5,494人、前年比率で155.6%となりました。国別の宿泊者数では、第1位は前年と同様に台湾で21,148人と断然多く、第2位は香港で7,789人、第3位は中国で2,547人、第4位はシンガポールで2,366人、第5位はタイの2,253人となっております。いずれも大幅に伸びており、伸び率ではシンガポールが235.0%、タイが226.4%、オーストラリアが214.3%、台湾が29.9%とアジア・オセアニア地域が好調でありました。

目的別の入込みは以下の通りとなりました。

区分	H26年度	H25年度	増減数	前年度比
スキー	2,569,000人	2,394,100人	174,900人	107.3%
温泉	941,500人	1,094,400人	▲152,900人	86.0%
アルプの里	140,300人	146,330人	▲6,030人	95.9%
行事	139,800人	142,100人	▲2,300人	98.4%
その他	531,300人	474,570人	56,730人	112.0%
計	4,321,900人	4,251,500人	70,400人	101.7%

(観光イベント)

4月29日に開催された「花まつり・ゆざわ」は、好天にも恵まれて6,000人ものお客様が訪れ、好評のうちに終わることができました。また、5月30日に開催された「越後湯沢ユニバーサルウォーク」も初夏を思わせる好天となり、約300人の参加をいただきました。実行委員会や関係者の皆さまに心より御礼を申し上げます。

■■■■健康・福祉・医療■■■■

(認知症施策)

本年度も「アクション農園倶楽部」の取り組みを5月12日より始めました。毎週火曜日の午前9時30分ごろから、雨天でない限り農作業をしておりますので、気軽に立ち寄っていただきたいと思っております。

(成人用肺炎球菌ワクチン)

成人用肺炎球菌ワクチン接種費用の一部助成を今年度も実施いたします。年度末の年齢で65歳から5歳刻みで100歳まで約580名の方を対象に、接種券を5月下旬に送付いたしました。今年度の湯沢町保険医療センターでの接種は、6月から7月と平成28年1月から2月の所定の期日に行うこととなっております。

(すくすく子育て応援金)

平成26年4月から制度を開始したすくすく子育て応援金については、平成26年度中に37名の方に支給いたしました。

(子育て支援)

4月6日より病児病後児保育を湯沢病院の指定管理者の地域医療振興センターの協力により、総合福祉センター内に開設いたしました。これからは子どもが病気の時でも安心して働くことができるようになりました。

(エックス線テレビ装置の更新)

老朽化していた湯沢病院のエックス線テレビ装置の入れ替えを5月に実施しました。旧装置より鮮明に撮影できますし、大きな視野で撮影できるため、消化管検査にとどまらず、嚥下造影検査などへの利用も可能となります。

(魚沼基幹病院の開院)

6月1日こ魚沼基幹病院が開院いたしました。これまで、高度医療を受けるには長岡まで行かなければなりませんでした。これからは魚沼圏域で受けられるようになります。また、救急医療体制も、より充実することになり、大変期待しております。

■■■■社会基盤■■■■

(主要公共事業等)

主要な公共事業の5月末現在の状況につきましては、繰越事業の東山線道路改良工事を実施しており、今年度分も発注準備を進めております。公園事業では、中央公園西コートの実施設計を発注いたしました。引き続き、主要事業の早期発注に向けて作業をまいります。また、維持管理関係の修繕工事につきましても随時発注してまいります。三俣地区の下水道事業につきましては、繰越事業の浄化センター建設工事を実施しており、引続き水処理設備、電気設備工事を発注いたします。管梁関係では、繰越事案分を実施し、引き続き実施設計、埋設工事を順次進めてまいります。

(リフォーム事業)

住宅リフォームの受付件数は5月末現在16件で、総事業費2,178万7千円、補助金額で149万9千円となっております。その内、補助金額が限度額10万円の件数は13件となっております。

事業用リフォームは7件の申請があり、総事業費は541万9千円、補助金額は57万7千円となっております。

■■■■教育・スポーツ・交流■■■■

(湯沢学園と保育園)

湯沢学園では4月8日こ午前は小学校、午後は中学校の入学式を開催いたしました。新しく湯沢学園に通うことになる1年生は名前を呼ばれると大きな声で返事をしていました。また中学生は真新しい制服を着て気持ちも新たに入学式を迎えていました。

今年度、湯沢学園は小学生は335人、中学生170人と505人が同じ学び舎で、湯沢学園の児童生徒として学ぶことになりました。

今年度は、統合2年目ということもあり、子ども達も教職員も落ち着いた様子で過ごしており、一貫教育の成果が少しずつ出てきているものと感じました。

5月28日から29日にかけて、小学6年生が東京へ修学旅行に出かけ、東京スカイツリーを見学したり、ライオンキングを観劇するなどいつまでも心に残る旅ができたものと思います。

保育園の入園式は今回が各保育園で行う最後の入園式となりました。それぞれの園で元気に執り行われました。園児数は出生率が低下しているものの未満児の入園数が増えているため、全体では昨年4月比微減の185人がそれぞれの保育園に登園しております。

今年度は次年度の認定子ども園への統合を控え、園長が2つの保育園長を兼務していますが順調に運営されています。

(総合文教施設整備)

平成24年度に契約した総合文教施設建設工事は昨年4月校舎棟、8月には地域交流センター棟が完成し。現在は認定子ども園棟や外構工事等が施工されていますが工事は順調に進んでいます。

(児童クラブ)

児童クラブは今年度より学年の枠を広げ6年生まで対象としております。今後、認定子ども園開園を機にさらに休日保育等の子育て支援策を進めてまいります。

(アルペンワールドカップ準備)

資金面につきましては大手企業のスポンサー様はじめ、町内等の企業の皆様からも開催の趣旨に賛同をいただき、多額の協力金を頂戴していることに、心から感謝を申し上げます。

5月18日の組織委員会の席上では、予算の説明や新事務局体制等について審議がなされ、それぞれの組織がさらに協体制の強化を図るなかで、開催準備を進めることになりました。

また、5月27日開催の実行委員会でも同様、大会開催についてスキー産業の復興と青少年育成のため、総力を挙げて協力することを決定いたしました。

(みくに国際学園)

旧三国小学校では、21世紀の国際社会に貢献できる人材の育成を目的とした英語教育を行う、「みくに国際学園」の開校記念祝賀会が4月28日に行われました。

初代学長には、米国下院議員など輝かしい経歴をお持ちのノーマン・D・シャムウェイ氏が就任し、今後、英語教育の発信地として、湯沢町と地域の活性化に貢献していただけるものと期待しております。

また、5月19日には、みくに国際学園とゆかりのある米国ブリガムヤング大学の交響吹奏楽団56名が日本公演の合間に湯沢学園を訪れ、子供たちとの交流を図るワークショップを行いました。ブリガムヤング大学交響吹奏楽団は米国全土で高い評価を得ている楽団であり、楽器の紹介と演奏で子どもたちが国際色豊かに音楽の楽しさを学ぶことができました。これも、みくに国際学園開校による効果の一面であると喜んでおります。

■■■■町政運営・消防・交通安全■■■■

(個人住民税の課税誤り)

個人住民税の課税誤りに関する還付及び返還処理につきましては、平成26年度中に対象者約2,200名の内1,853名の方に、総額32,306,900円を還付・返還しております。当初の予定では、5月頃に事務を終了する予定としていたましたが、所得調査等に時間を要しているため、引き続き、未処理分については調査等事務処理を行い、早期の返還に努めてまいります。

(消防)

5月6日、火災予防の啓発のため、消防車両13台、湯沢消防署長をはじめ総勢26名による春季消防パレードを実施いたしました。また、17日には1・2・3分団、24日には4・5分団がそれぞれ春季消防演習を行い、日頃の訓練の成果を地域の皆様に披露いたしました。

(交通安全)

春の全国交通安全運動期間である5月11日から20日までの間、交通指導員が交通指導車で巡回し、交通安全の広報活動を実施いたしました。湯沢町では幸いにして大きな事故はありませんでしたが、今後も交通安全の啓発に努めてまいります。